

Top Message	環境本部長インタビュー	特集 The Power of ICT	第7期富士通グループ環境行動計画	Chapter I 社会への貢献	Chapter II 自らの事業活動	環境マネジメント	データ編
-------------	-------------	---------------------	------------------	------------------	--------------------	----------	------

ICTの提供による温室効果ガス(GHG)排出量の削減      持続可能性に貢献する(サステナビリティ)ソリューションの提供      **エネルギー効率に優れたトップレベル製品の開発**      製品の資源効率向上      先端グリーンICTの研究開発      社会との協働/良き企業市民としての活動

## エネルギー効率に優れたトップレベル製品の開発

### 富士通グループのアプローチ

昨今、ICT製品に関するエネルギー規制の増加や対象製品の拡大が進むと共に、社会的にも環境ラベル適合やグリーン調達要件としてエネルギー効率が重要視されるようになっていきます。

こうした中、富士通グループは温室効果ガス排出低減に向けて、製品使用時のエネルギー効率向上の取り組みを加速していく必要があると考えています。そのため、エネルギー効率がトップレベルとなる製品の開発を推進しています。これまで、「スーパーグリーン製品」の開発などを通じて製品のエネルギー効率の向上を図ってきましたが、第7期環境行動計画では「新製品の50%以上をエネルギー効率トップレベルにする」という目標を掲げ、さらなるエネルギー効率向上を目指す製品開発を推進しています。

### 2013年度の実績サマリー

第7期環境行動計画の目標 (2015年度末まで)	新製品の <b>50%</b> 以上をエネルギー効率トップレベルにする。
2013年度目標	新製品の <b>40%</b> 以上をエネルギー効率トップレベルにする。
2013年度実績	新製品の <b>39.0%</b> がエネルギー効率トップレベル

### 2013年度の実績・成果 各部門で省エネ技術を積極的に適用

事業部門ごとに、2013年度中に開発が見込まれる製品シリーズ数に基づき、エネルギー効率トップレベルの達成度を目標として設定しました。

ストレージシステムやサーバでは高効率電源の採用、スマートフォンでは省電力ディスプレイの採用や省電力制御の最適化、スキャナではパワーマネジメント機能の強化を図りました。そのほかにもLSIの集約や部品点数の削減、省電力デバイスの採用など、各部門が省エネ技術を積極的に適用し、エネルギー効率トップレベルの製品開発に取り組んでいます。

**業界トップクラスの高効率電源の採用**  
FUJITSU Server PRIMERGY RX300 S8



80PLUS®Titanium(注) 認証の高効率電源ユニット採用で消費電力削減を実現

(注)米国の業界団体が中心となって策定したコンピュータ/サーバ内蔵の電源ユニットに対する省電力基準の最高ランク認証。

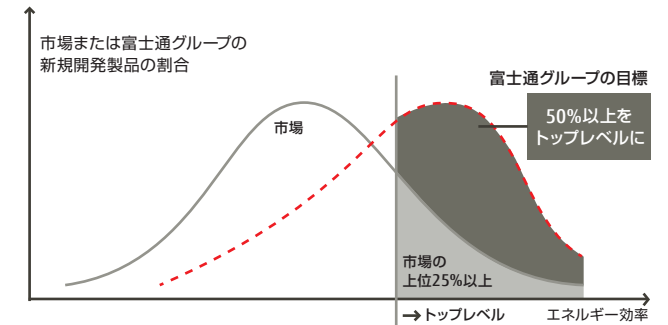
### 計画外の開発や開発延伸によりわずかに未達

2013年度の実績は39.0%と、目標達成にわずかに届きませんでした。

主な原因は、市場要求の急激な変化により計画外の開発が発生したことや、目標として採用した外部団体の基準制定と適用が遅れ、基準値適合の判断ができなかったこと、製品の開発延伸などによるものです。

### 参考情報 エネルギー効率トップレベル製品とは

エネルギー効率においてトップランナー製品(世界初、業界初、世界最高、業界最高など)をはじめとした、市場の上位25%以上に相当するような基準を満たす製品です。



### 2014年度の目標・計画

#### 優れた省エネ技術を展開し 適用製品を拡大

「新製品の45%以上をエネルギー効率トップレベルにする」という年度目標の達成に向けて、各部門におけるトップレベル製品開発の上積みなど、計画の見直しを進めます。また、エネルギー効率改善を進める施策として、優れた省エネ技術を横断的に展開し、適用製品を拡大していきます。

さらに、将来に向けて、エネルギー効率の革新的向上に貢献する省エネデバイスの先端技術開発を進め、早期の製品適用を目指します。

Top Message	環境本部長インタビュー	特集 The Power of ICT	第7期富士通グループ環境行動計画	<b>Chapter I 社会への貢献</b>	Chapter II 自らの事業活動	環境マネジメント	データ編
-------------	-------------	---------------------	------------------	-------------------------	--------------------	----------	------

ICTの提供による温室効果ガス(GHG)排出量の削減      持続可能性に貢献する(サステナビリティ)ソリューションの提供      エネルギー効率に優れたトップレベル製品の開発      製品の資源効率向上      先端グリーンICTの研究開発      社会との協働/良き企業市民としての活動

## 2013年度の主な活動報告

### 業界トップレベルの電池持ちを実現したスマートフォン

ARROWS NX F-06E/F-01F



従来のスマートフォンで多くのお客様にとって最大の不満となっていたのが「電池の減りが早い」ことでした。そこで、2013年度に発売した製品では省電力化を図り、「ARROWS NX F-06E」で業界首位、「ARROWS NX F-01F」でも業界トップクラスの電池持ちを実現しました。

それを支えるのが3つの要素技術「大容量電池と小型化の両立」「ディスプレイ表示電力の低減」「省電力制御の最適化」です。なかでも、ディスプレイ表示電力については、F-01Fで世界に先駆けて最先端のディスプレイを採用し、一般的なTFT液晶パネルと比べて、画面が一番明るい状態において、液晶バックライトの消費電力を約45%低減することに成功しました。

### エコモードで消費電力を削減するディスクストレージシステム

FUJITSU Storage  
ETERNUS DX100/200/500/600S3



ETERNUS DXディスクストレージシステムには、必要な時だけディスクドライブのディスクを回転させるMAID技術を応用したエコモード機能を搭載しています。ディスクドライブに一定時間アクセスがない場合はディスクの回転を停止させ、消費電力を削減します。なお、停止していたディスクドライブにアクセスが生じた場合は1分程度で使用可能となります。

エコモードのほかにも、電源変換(AC-DC)の損失を抑える業界最高水準の高効率電源ユニットや、周囲の温度によって冷却ファンの回転数をきめ細かく制御する技術を採用しています。

### 参考情報 エネルギー効率トップレベル製品の目標基準

目標基準は、市場または従来製品との比較において、エネルギー効率がトップレベルと認められる基準を製品分野別に定めています。

#### 主な基準(注1)

基準	製品群
エネルギースタートプログラム基準(最新バージョン)適合	パソコン、イメージ機器など
省エネ法トップランナー基準(2011年度)達成率トップレベル	サーバ(注2)、ストレージシステムなど
業界トップレベルのエネルギー効率	LSI、特定分野向け製品など
業界トップレベルの電池持ち	スマートフォン
従来製品・従来性能と比較し消費電力を削減	ネットワーク機器(注3)、電子部品など

(注1) 基準値は、同一製品群の中でも構成により異なる

(注2) PCサーバ除く

(注3) ICT分野におけるエコロジーガイドラインで評価する製品は、星の数(多段階評価)でトップレベル